

事務局から本年度の事業仕分け候補について説明を受けた。

【事務局説明】

⇒10月に本年度の事業仕分けを予定しています。対象項目については、【資料①】に掲げた15項目の候補から、今回の委員会で4項目を選定いただきたいと考えています。選定方法としては、各委員から4項目に投票いただき、投票数の多い上位4項目を選定する手法をとりたいと考えます。

⇒15項目の候補については、予算規模、市の裁量の余地、これまでの経緯、過去の候補等を参考に、外部の視点から意見を聴く必要があると思われる事業を選定したものです。また、本年度は、総合計画後期基本計画策定のため、市民5,500名を対象にしたアンケート調査を実施しており、この結果を反映させた項目も含めました。また、従来は候補としてこなかった内部事務等についても、候補として設定しております。

⇒事業仕分けの結果については、市長に提言をいただき、市の今後の政策形成等の参考とさせていただくものです。

⇒（各項目について概要報告）

[審議・質疑応答]

- 候補項目の一部は、従来の事業仕分け結果の6区分「（1）不要」～「（6）現行どおり」に当てはめにくいため、こうした項目が選定された際は、場合によって事業仕分けの手法についても一定の整理が必要になると考える。
- 行政地域制度について疑問に思う点があり、候補項目に含めて欲しかった。また、候補の内、選挙事務については、実体験から期日前投票のあり方に疑問を持っており、市の柔軟な対応や、より投票率を上げる工夫が必要だと考えている。
- 補助金関係の項目が多いが、個別の事業毎に見るのではなく、補助金全体のあり方について議論した方が、整理しやすいと思う。また、職員定数等については、仮に事業仕分けの結果として提案しても市として受け入れられるのかという思いもある。
- 事業仕分けを実施する上では、経済的合理性・効果を考える必要がある。候補項目に予算規模の開きがあるが、こうした視点に立てば項目は一定絞られるのではないか。併せて、今後の社会を考えると、将来を託す若い世代に対する費用より、高齢者関係の費用について見直していくべきではないか。
- 事業仕分けで出来ることには一定の限界がある。事業仕分けという手法の中では、ある程度個別・具体的な項目を見ていかざるを得ないと思う。

●市民アンケートでは、経済・雇用分野について満足度が低い傾向が見られるが、今回の仕分けの成果がこの改善に結びつくと考えられるか。

●市が経済・雇用分野についての権限をどの程度持っているかどうかという問題もある。

●今回、事務局から事前配布された資料は資料①～③であったが、内容的に候補事業について十分な事前確認ができなかった。事務局は、できるだけ早期の情報提供・情報共有化を図りたい。

○木津川市の社会福祉協議会について、市町村合併時の動向はどのようなものであったのか。

⇒従来、木津町、加茂町、山城町の3町それぞれに社会福祉協議会がありましたが、これが市町村合併時に合併して、木津川市社会福祉協議会となったものです。現在は木津地域に本所があり、加茂・山城地域にはそれぞれ支所がある形となっています。

○社会福祉協議会については、人件費補助金だけではなく、市から委託される様々な業務についても委託料が払われていると思うが、そこらには人件費等は含まれていないのか。

⇒複数の部局から補助・委託が行われており、人件費分を含むものそうでないものが混在している状況です。

●社会福祉協議会は、団体としては社会福祉法人という位置付けになる。様々な福祉事業の最後の受け皿として活動しているのが実態だと思われるが、会員から集められる会費のみで人件費を賄うことは困難ではないか。委託事業を含めてどのような業務を行っているかということを見ていきたい。

●社会福祉協議会・シルバー人材センターといった団体について判断していくためには、決算書や活動報告書を見ていく必要があると考える。

●社会福祉協議会とシルバー人材センターは、人件費補助という点が同じであっても、そもそもの役割に違いがあることを認識しておく必要があると考える。

●団体補助金については、単に金額の多寡で判断するのではなく、どのような役割・業務を担っているかということ踏まえて考えていくべきだと考える。

○幼稚園使用料について、参考としてあげられている経費はどのような趣旨のものか。

⇒市立幼稚園に関する職員人件費や3園の管理経費等となっています。幼稚園使用料については、各自治体毎に金額の差異があるため、適切な受益者負担の基準についてご意見をいただきたいという趣旨で候補として挙げており、参考として市立幼稚園関係経費をお示ししているものです。

○青少年健全育成事業の内容はどのようなものか。

⇒「少年の主張大会」「野外音楽フェスタ負担金」「地域子ども会補助金」等が実施されています。

○指定等文化財修理等補助事業については、今後、木津川市が観光振興を進めていくためにも、歴史遺産の保存等に先行投資していくべき項目ではないのか。

⇒事業仕分けの候補項目については、削減・廃止を前提としたものではなく、今後のより良い政策形成に向けて外部からご意見を伺いたいという趣旨で設定させていただいているものです。

○新設学校給食センター建設事業については、他の項目が、現行の事務事業の実施方法等がテーマであるのに対し、新たな施設整備に係るものであり、資料や議論の時間が限られる中で、事業仕分けの対象とするのは困難ではないか。

⇒新設する場合は、建設費等が膨大になるため、外部のご意見を伺う一つの手法として提案させていただいたものです。

●新設学校給食センター建設事業をテーマとする場合は、ソフト・ハード事業を区分する必要があるのではないか。また、食の安全・アレルギー対策等についても留意していくべき項目だと考える。

●職員研修事業については、予算額で見れば規模は小さいが、研修に参加する職員の人件費を考えると金額は大きくなる。また、職員の能力・生産性が向上することの波及効果を考えると非常に大きなテーマなのではないか。

[事業仕分け対象項目選定投票]

【資料⑥：事業仕分け対象項目選定投票用紙】

○4項目に投票ということだが、4項目未満の投票でも問題ないか。

⇒4項目以下であれば結構です。

【投票・事務局集計】

⇒集計したところ以下の結果となりました。

1位：社会福祉協議会補助事業	6票
2位：シルバー人材センター事業	4票
3位：公用車管理事業	3票
4位：幼稚園使用料	3票
(※他項目は0～2票)	

●事業仕分けの対象項目について、委員の過半数が賛成したもののみを取り上げるべきではないのか。

●今回のように多数の項目から選定する場合には、過半数を条件にすることは馴染まないと考える。

●今回の事業仕分けについては、当初の予定通りこの4項目を対象項目として、選定方法については、次年度以降の課題としていけば良いと考える。

[事業仕分け・事前勉強会の実施について]

【資料②：事業仕分け実施要領】

【資料⑦：平成25年度事業仕分け・事前勉強会の実施について】

事務局から、本年度の事業仕分けの日程等及び、前回（平成23年度）の事業仕分けの実施方法等について概要説明を受けた。また、次回委員会（事前勉強会）について日程調整・意見交換を行い、以下のとおり決定した。

（今後の日程）

- ・事前勉強会（第3回委員会）[10月1日（火）午後]開催
- ・事業仕分け（第4回委員会）[10月14日（月・祝）午後]開催

（勉強会の資料等について）

事前勉強会の資料は、事務局で取りまとめて各委員に送付し、追加資料が必要であれば、委員から事務局に連絡する形とする。

（※ 資料送付については、十分な時間的余裕をもって行う。）

[（2）第2次木津川市行財政改革行動計画について]

【資料⑧：第2次木津川市行財政改革行動計画（最終案・部分）】

事務局から、第2次木津川市行財政改革行動計画（最終案）について説明を受けた。

【事務局説明】

⇒前回委員会でご報告いたしました事務局案をベースとして、庁内各課と調整を行った行動計画の最終案です。現在、最終調整を行って決裁の準備段階にあり、今月中の策定を予定しています。

外部評価については、前回委員会の議論を踏まえて、来年度初回の委員会までに事務局で一定整理を行い、ご提案させていただく予定です。

なお、策定した行動計画については、次回委員会でお渡しさせていただく予定です。

	4. その他 ・特になし 5. 閉 会
その他特記事項	特になし。